

第2章 このプランでどのような姿を目指すのですか

1 本市の現状と課題

本市を取り巻く社会環境は、少子・高齢化や地方分権の進展、人口減少社会の到来、社会の成熟化に伴う意識の変化や市民のライフスタイルの多様化・高度化など、急速に変化しています。こうした背景により、社会的課題や高齢者介護や子育て、防災や防犯などの地域課題といった多くの取り組むべき課題に直面しています。

また、中山間地域や農村部での人口減少、市街地での地縁関係の希薄化により、地域の連帯感が薄れ、これまで地域コミュニティが担ってきた共助の機能が低下しつつある地域もあります。

こうしたことから、本市では、地域が活性化し、地域が主体性をもって持続的に地域課題に取り組み、誰もが住み良い豊かな地域社会を実現するため、市民と行政、そして市民同士が共に取り組む『協働によるまちづくり』を目指しています。

平成18年2月に実施した市民意識調査によると、まちづくりに関し、「行政と市民の役割分担を定め、市民参加を進めながら協働で行うべきである」と「市民が積極的に各種活動の実施や一定の責任を持ち、市民主体によるまちづくりを行うべきである」と回答した市民は、8割を超え、市民参画の仕組みについても約8割の市民が必要性を感じていました。

現在市では、市民と行政の協働の具体的な取り組みとして、実行委員会、共催や後援といった形態によるまつりやイベント事業、公民館事業やスポーツ関連事業を実施するとともに、委託や補助（財政的な支援）、アドプト制度（※）という形態により事業を実施していますが、取組事例はまだ少ないという実態があります。

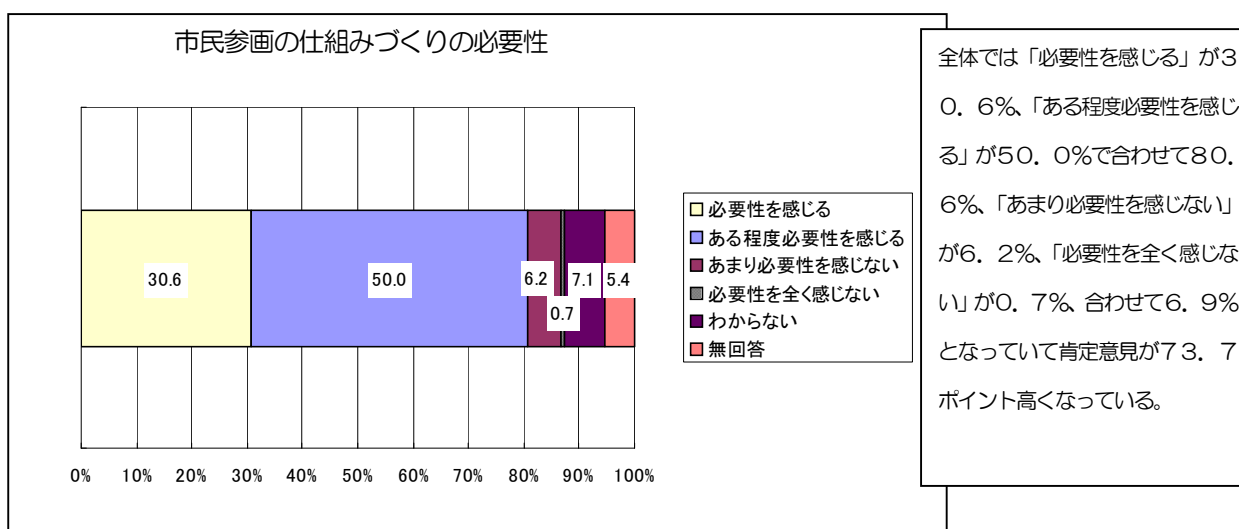
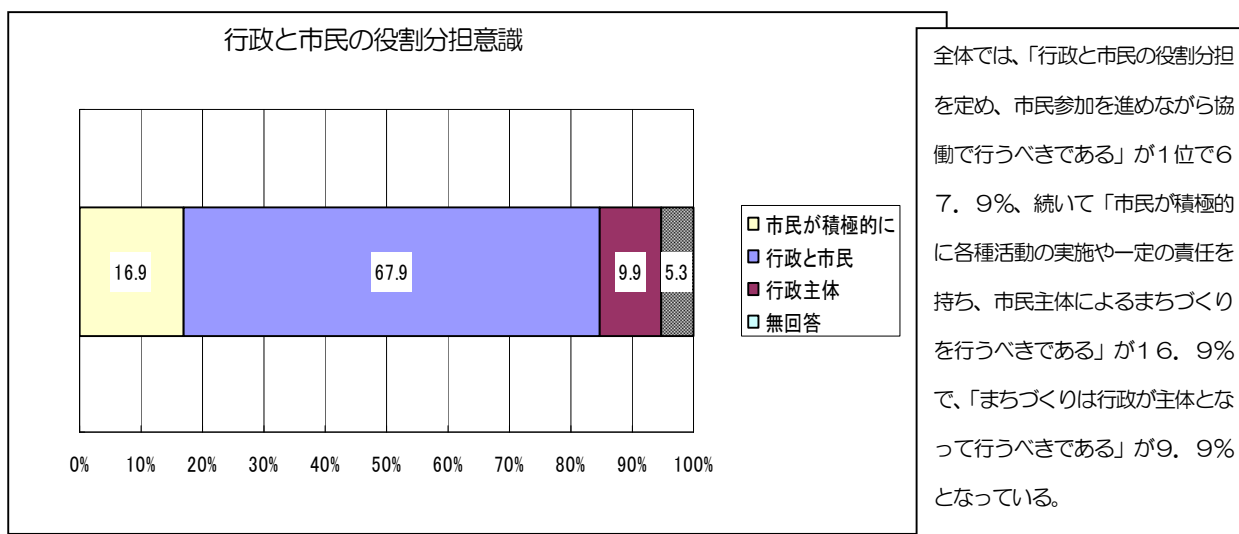
また、平成20年7月に実施した職員アンケートでは、『協働』の必要性については92.2%の職員が『必要である』と回答したものの、『協働が進んでいるか』という質問に対しては、『進んでいない』が40%、『わからない』が47%と回答するとともに、『協働という言葉の説明できる』と答えた職員は19.2%でした。

このように、「協働」の必要性については認識があるものの、「協働」の内容については、市民と行政双方でまだまだ理解されていないと感じられます。

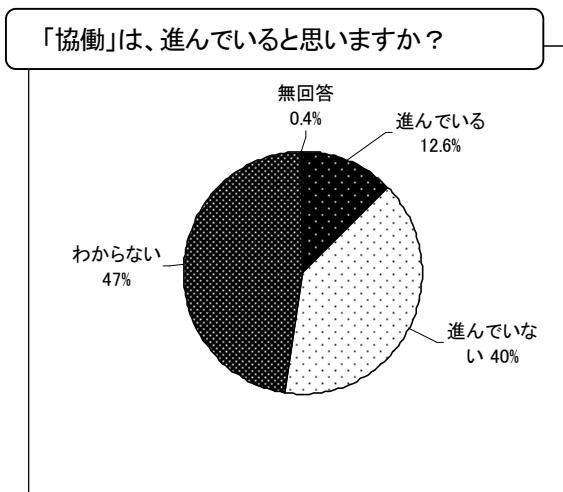
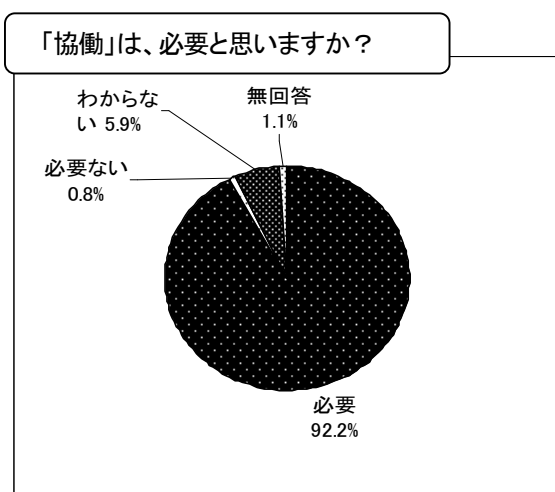
こうしたことから、市民と行政が「協働」について共通理解を深め、事例や経験を積み重ねることが必要であると考えています。

※アドプト制度……市民が道路や公園などの公共施設の里親となり、美化活動や施設の現状報告を行い、市は保険加入や物品の支給などを行う協働形態をいいます。

【総合計画策定等に係る市民意識調査報告書（平成18年6月）】



【「協働」に関する職員アンケート調査（平成20年7月）】



2 本市の目指す姿

これまでのような行政による公平・画一的な公共サービスの提供だけでは、複雑化・高度化する市民ニーズや地域課題に十分対応できなくなってきました。その解決には、市民と行政、そして市民同士が協働して地域を支えていく仕組みづくりが必要となってきました。

本市を取り巻く環境やこの協働推進プランの目的や施策等を踏まえ、次のような地域社会を目指します。

目指す地域社会の姿

住民の皆さんをはじめ、様々なまちづくりの主体が参加し、協働して、地域の活性化や振興などの様々な活動を主体的かつ継続的に行うことにより、

- ①「住民自治の振興」
 - ②「地域力の発展や向上」
 - ③「地域内での連携・協力の促進」
- } が図られる

『個性豊かで 活力のある 自立した 地域社会』





3 数値目標



このプラン全体の数値目標は、市総合計画の「施策7-① 人のきずなでつくるまち」と「施策7-② 市民と行政の協働によるまちづくり」と同じ成果指標を採用します。

また、職員に対しても毎年度アンケートを実施し、協働の理解度についても検証していきます。



①地域活動に参加している市民の割合【単位：％】

現状値 (H18年度)	目標値 (H24年度)	目標値 (H29年度)
37.5	 45.0	 50.0



②市民活動を行っている市民の割合【単位：％】

現状値 (H18年度)	目標値 (H24年度)	目標値 (H29年度)
10.8	 13.0	 15.0

③まちづくりや市民参画の活動に参加している市民の割合【単位：％】

現状値 (H18年度)	目標値 (H24年度)	目標値 (H29年度)
18.8	 23.0	 30.0

④市政に市民の声が反映されていると思う市民の割合【単位：％】

現状値 (H18年度)	目標値 (H24年度)	目標値 (H29年度)
26.0	 30.0	 35.0

⑤協働ということを説明できる職員の割合【単位：％】

現状値 (H18年度)	目標値 (H24年度)	目標値 (H29年度)
26.0	 100	 100

※ 現状値は、目標を設定する基準数値で、市民アンケートから取得しています。

※ ①、②は総合計画の「施策7-① 人のきずなでつくるまち」の成果指標です。

※ ③、④は総合計画の「施策7-② 市民と行政の協働によるまちづくり」の成果指標です。